

小学部

今年度の小学部は、入学生1名、転入生1名を迎え12名でスタートしました。4月19日(火)には、「入学・進級おめでとう会」を体育館で行いました。会場は、2年生から6年生まで全員で協力してシートを敷いたり、いすを並べたりしました。また、各学級から折り紙で作った花やちょうちょう等を飾り、会場を華やかにしました。

会の中では、6年生が司会を担当し、4年生が新入生の手をつないで会場へ連れてきてくれました。最初に学級紹介を行い、子供たち一人一人が好きなことや頑張りたいことについてみんなの前で発表することができました。また、レクリエーションでは、1、2年生が好きな恐竜やキャラクターを使って「なんでもバスケット」で体を動かしたり、「USA」のダンスを踊ったりして楽しい時間を過ごしました。最後には、6年生の代表の児童から新入生にメダルを渡し、全員で入学おめでとうの気持ちを伝えることができました。新入生は、メダルに好きなキャラクターのイラストが描いてあったのでとてもうれしそうでした。

この会では、新入生も転入生もいなっ子の仲間入りをすることができました。小学部では、今年度も児童が仲良く、元気に、様々なことにチャレンジできるようにしていきます。



中学部

4月20日(水)、中学部の進級・新入おめでとう会を実施しました。中学部は1年生4名、2年生3名、3年生5名の計12名でのスタートとなりました。

新入生を迎える立場の2、3年生で役割を分担し、新入生に喜んでもらうためにはどうしたら良いかを考えて準備を進めてきました。「招待状にハートのシールを貼ろう。」「お楽しみの活動ではフルーツバスケットをしよう。」「歓迎の言葉に「分からないことは何でも聞いてください。優しく教えてあげます。」と書きたい。」など、自分たちの考えを出し合い実行することができました。

当日は、自己紹介のコーナーで、縄跳びや、側方倒立回転などの特技を実演する生徒がおり、大きな歓声と拍手が上がるほど会場内は大盛り上がりでした。「みんなで楽しもう」のコーナーでは、生徒、教師全員で、フルーツの絵カードを首から提げて、いす取りゲーム「フルーツバスケット」をしました。おに役になっても、どのフルーツの名前を読み上げるのか、ドキドキしながら待つみんなから脚光を浴び、全員が大喜びでゲームを楽しみました。

会終了後、1年生から「とっても楽しかったです!」との感想がありました。中学部が一致団結し、良いスタートを切ることのできた進級・新入おめでとう会となりました。



高等部

高等部では4月14日(木)に6名の新入生を迎え「新入生歓迎会」を行いました。始業式・入学式から約2週間、新しいスタートの忙しい期間でしたが、2、3年生は「先輩として1年生が入学して良かったと思えるようにしよう。」を目標に、協力して準備を進めました。

歓迎会当日の新入生は、始まったばかりの学校生活にまだまだ緊張している様子でしたが、2、3年生とお互いの自己紹介やレクリエーションをきっかけに、だんだんと打ち解け合っていた様子でした。生徒も教員も、会が終わる頃には笑顔も多く、あたたかい雰囲気の歓迎会となりました。

生徒会長からの新入生歓迎の言葉の中には、「学習などで分からないことや、困ったことがあったら、私たち先輩や先生方に相談してください。これから僕たちと一緒に、勉強や運動に励んでいきましょう。」という頼もしい言葉がありました。高等部20名がこれからお互いに助け合ったり、伝え合ったりして充実した学校生活を送っていくための良いスタートの日となりました。



子どもたちも所属する学部の新入生歓迎会を終えて、友達と仲良く協力して活動する姿が見られるようになってきました。

今年度本校は、小学部十二名、中学部十二名、高等部二十名の計四十四名でのスタートです。

学級、学部の活動だけでなく、全校朝の会などの学部を超えた活動や地域での活動を大切にしながら、本校の学校教育目標である「じょうぶな体をつくろう」、「進んで学び行動しよう」、「みんなと仲良くしよう」に向かい、自立や進路実現のため、安心した学校生活を送れるように教職員一丸となって取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いたします。

また、新型コロナウイルス感染症対策では、計画変更等の御協力をいただくこともありますが、日々の状況の把握や情報収集に努め、安全な学校生活を送れるようにしてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

日頃より、皆様方には、本校の教育活動に御理解と御協力いただき、また温かく見守っていただいておりますこと、心より感謝申し上げます。

今年4月に着任いたしました校長の猪俣康彦と申します。どうぞよろしくお願いたします。

今年度がスタートして、もうすぐ一ヶ月が過ぎようとしています。



「新年度を迎えて」

校長 猪俣康彦

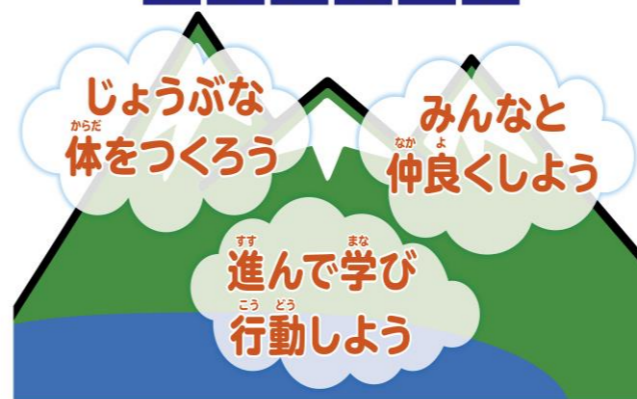


いなっ子

発行所
福島県立猪苗代支援学校
969-3283
耶麻郡猪苗代町大字長田
字並柳西 3966-2
Tel. 0242(65)2151

令和4年度 学校教育目標

福島県立猪苗代支援学校 学校教育目標



令和4年度 学校経営・運営ビジョン

福島県立猪苗代支援学校 令和4年度 学校経営・運営ビジョン

学校教育目標
じょうぶな体をつくろう
進んで学び行動しよう
みんなと仲良くしよう

「地域で共に学び共に生きる」 「学びの変革」

重点目標
3観点に沿った評価を行い、児童生徒の学習状況を的確に捉え、次の学びにつながる授業作りに努める。

- 小学部 相手に伝わる返事のできる児童を育てます
- 中学部 生徒が学部活動の企画・運営に挑戦します
- 高等部 社会生活に必要な知識を付け、自ら考えて行動できる力を育てます

「公共交通機関の利用」 「ICTの活用」

- 研修部 児童生徒が学びを振り返り、「分かった」「できた」が実感できる授業づくりを推進します
- 教務部 児童生徒の学びの姿をホームページで発信します
- 進路指導部 児童生徒のキャリア発達に合わせた進路学習と、進路についての情報提供の充実を図ります
- 保健部 児童生徒が自分手帳を活用し、食習慣や運動習慣・生活習慣に関心がもてるようにします
- 生徒指導部 社会自立に向けて公共交通機関の利用の仕方や、言葉遣いを身に付けられようようにします

地域支援センター
子どもたちの学びを支えるために、はあとふるタイムや校外の教育相談を充実します

児童生徒の生命と安全を守ります
新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図ります